

令和元年度 基本事業評価シート (平成30年度実績評価)

政策 02 健やかに暮らせるまち

施策 02 高齢者福祉の推進

基本事業 01 生きがいつくりの機会と社会参加の促進

主管課： 介護福祉課

関係課： 経済課、生涯学習課

1 基本事業の目的

対象 (誰, 何を対象としているか) 60歳以上の市民	意図 (どのような状態にしたいのか) 仕事や趣味, スポーツ等の生きがいをもつ高齢者を増やす。 地域活動などに参加する高齢者を増やす。
---------------------------------------	--

2 基本事業の成果状況 (意図の達成度を図る成果指標とその動向)

生きがいをもっている高齢者の割合 (%) 介護福祉課					
基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
63.30	62.80	60.20	61.80	63.40	65.00
向上指針	上がると良い	(状況) 前年度比較で2.6ポイント減少しており, 基準値よりも3.1ポイント低い状況です。 (原因) 高齢者の生きがいつくり事業として, サロン活動支援事業やシニアクラブ活動支援, 生涯学習など活動は活発に行われています。また, シルバーリハビリ体操推進事業, 高齢者就業機会確保事業など高齢者の担い手事業も行われていますが, 高齢者数の増加に対して, 生きがいを持っている高齢者の数が上回っていないため, 成果指標値が増加していないと考えます。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

社会参加, 交流をしている高齢者の割合 (%) 介護福祉課					
基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
53.60	57.00	56.80	58.00	59.00	60.00
向上指針	上がると良い	(状況) 前年度比較で0.2ポイント減少していますが, 基準値からは3.2ポイント上昇しています。 (原因) 高齢者の社会参加や交流の場として, シニアクラブ活動支援やサロン活動支援事業, 高齢者就業機会確保事業 (シルバー人材センター) など活動は活発に行われています。しかし, 市民アンケートにおいて社会参加で仕事と回答した割合が48.0%と一番高く, 平成28年度と比較すると8.6ポイント増加し, 平成29年度と比較するとほぼ横ばいの状況です。働く高齢者の増加等の要因から, 成果指標値が増加していないと考えられます。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	中				
次年度課題	課題とする				

ボランティアや自治会等の地域活動に参加している高齢者の割合 (%) 介護福祉課					
基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
44.90	51.60	47.20	49.80	52.40	55.00
向上指針	上がると良い	(状況) 前年度比較で4.4ポイント減少していますが, 基準値からは2.3ポイント上昇しています。 (原因) 高齢者の地域活動として, シニアクラブ活動やサロン活動, シルバーリハビリ体操などの活動の他に, 自治会活動なども行われています。しかし, 平成30年度の市民アンケートにおいて, 老人会や自治会活動などの地域活動に参加している割合は, 平成28年度からほぼ横ばいの状況であることから, 地域活動に参加する高齢者の固定化が考えられます。			
対前年度	低下				
目標達成度	中				
次年度課題	課題とする				

基準値 (H26)	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値 (R03)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

